

## プロジェクト課題活動実績

### 課題名 集落営農法人の設立推進と農地集積、法人連携による継続的な営農体制の確立

長門農林事務所農業部

チーム員：鳥居、白石、中村、原川、安良田、吾郷、向野、松田、河野、窪田、岡藤

#### <活動事例の要旨>

高齢化の進行、米価の低迷などの経営環境の変化に対応するため、関係機関等と連携し法人化の継続誘導を行うとともに、今後の取組モデルとして法人連携の強化及び担い手の一翼を担う女性の法人経営参画に向けた支援を行った。

法人化への合意形成支援と意識啓発に向け、法人化の得失及び試算の提示等により推進した結果、3集落で法人設立され、他の1集落でも設立に向けた協議が進捗中である。

法人連携の強化として、地域農業をサポートする体制整備を進める中、関係機関を始め、長門地区法人協と連携し、新たに乗用管理機等を共同利用機械として導入するとともに、労力確保に係る法人調査の中で提案された法人の連合体制の検討やその参加意向の聞き取り等を進めた結果、2地区で法人連合体設立発起人会が設置された。

さらに、一市一農場推進室等と連携して農地集積を進め、担い手への農地集積面積は60haを超える実績が得られたほか、未組織集落の内、1地区で認定農業者による今後の農地利用を検討する場が設置された。

また、女性の経営参画モデルづくりを推進したところ、1法人で女性による加工等の起業活動検討チームが活動を開始するとともに、本年度設立の1法人で女性理事が就任した。

#### 1 普及活動の課題・目標

- 法人化の推進と法人間の連携強化及び農地集積等による、法人の経営安定と継続的な営農体制の確立

##### (1) 法人化の推進

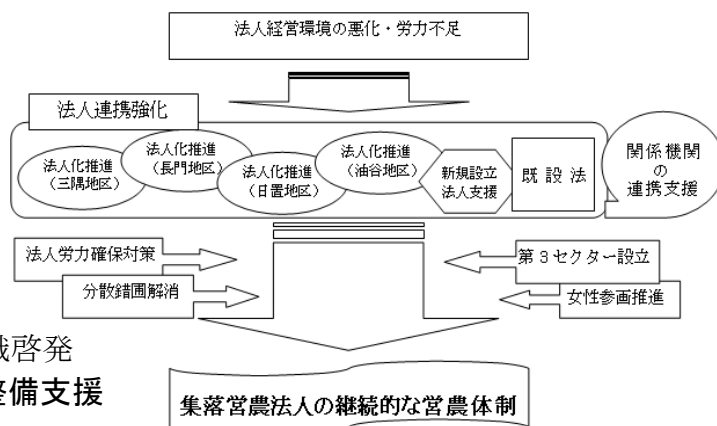
- ア 法人化推進地区での合意形成支援
- イ 法人化推進地区の掘り起し、意識啓発

##### (2) 地域農業をサポートする体制の整備支援

- ア 計画的な農地集積の推進
  - ・ 広域支援会議の充実・強化
  - ・ 分散錯圃解消に注視した担い手への農地集積推進
- イ 法人協と連携した運営支援
  - ・ 法人間での機械・施設の共同利用促進支援
  - ・ 労力確保対策等の課題解決支援
- ウ サポート体制構築に向けた機運醸成と連合体の育成
  - ・ モデル化検討の投げかけと取組誘導
  - ・ 農地情報を活用した受託者協議会や3セクプロ会議の開催支援

##### (3) 法人経営への女性参画の推進

- ア 地域資源を活かした地域づくり活動の推進
- イ 女性の組合員、役員としての法人経営への参画推進



## 【到達目標の概要】

### 2 普及活動の内容

#### (1) 法人化の推進

##### ア 法人化推進地区での合意形成支援

法人化の意向が強い4集落（A、B、C、D）を重点対象として、法人化後の経営試算及び運営方法等の検討を支援。

##### イ 法人化推進地区の掘り起し、意識啓発

地区支援会議において、未組織集落に対し、集落リーダーの意向聴取及び近隣集落の法人化動向などの情報提供等を通じ、検討気運の醸成及び法人化意向の聴取を継続実施。

目標項目	基準H25	現状H28	目標H29
集落営農法人数	16法人	24法人	30法人
法人間利用できる機械の増加	-台	8台	10台
労力不足とならない法人の増加	-法人		12法人
担い手の農地集積面積	843ha	1,100ha	1,369ha
女性役員がいる法人	1法人	2法人	2法人

#### (2) 地域農業をサポートする体制の整備支援

##### ア 計画的な農地集積の推進

###### ・広域支援会議の充実・強化

各関係機関で各般の推進策を共有する必要から、地区ごとの支援会議の共通テーマ等を協議し、その推進戦略を協議する場として広域支援会議の計画的開催を誘導。

###### ・分散錯圃解消に注視した担い手への農地集積推進

農地集積推進員と連携し、法人意見交換会や受託者等が集まる場で中間管理事業の制度変更の説明及びPR等を実施。

##### イ 法人協と連携した運営支援

###### ・法人間での機械・施設の共同利用促進支援

地区法人意見交換会等で機械共同利用規程の再周知する中で、JAを事業実施主体とした乗用管理機の導入支援を行うとともに、三隅・油谷両地区では設立検討が進む法人連合体に係る共同利用機械の導入を支援。

###### ・労力確保対策等の課題解決支援

27年度に法人協と連携実施した労力調整・連携強化に関するアンケート調査の結果を「集落営農法人を考える会」、法人協の役員会及び意見交換会で共有。

当該調査及び法人からの意見等を踏まえ、労力確保に向けた体制として、法人の連合体制の整備の検討を提案。

##### ウ サポート体制構築に向けた機運醸成と連合体の育成

###### ・モデル化検討の投げかけと取組誘導

法人の連合体制のイメージを関係機関で作成・共有し、管内法人の意向を聴取。

その結果、意向がまとまった三隅・油谷の両地区で連合体設立準備委員会が設置され、当該委員会での議題提案及び検討支援を実施。

###### ・農地情報を活用した受託者協議会や3セクプロ会議の開催支援

分散錯圃解消の活動にあわせ、油谷久富・長門深川の受託者(≒認定農業者)を対象に、耕作状況を地図化(見える化)したうえで、地域の中心となる担い手間の意見交換・農地調整を行う場として、受託者協議会の設置を誘導。

3セクプロは停滞気味であるが、プロジェクト会議の定期的な開催を誘導するとともに、関連情報として、受託者協議会や法人の連合体制に係る取組概要等を共有。

(3) 法人経営への女性参画の推進

ア 地域資源を活かした地域づくり活動の推進

E 法人において、27 年度に作成した集落ビジョン案をもとに、実践項目ごとの年間活動計画や具体的な目標等の検討を支援。

また、その核として整備予定の加工施設の候補地選びに並行して、取組内容を検討する「起業活動検討チーム」の設置を誘導。

イ 女性の組合員、役員としての法人経営への参画推進

地域づくり活動を進めてきた経緯の共有と今後の活動方向等の検討に向け、女性部の総会開催を支援。当該活動について、法人研修会等での情報提供を実施。

3 普及活動の成果

(1) 法人化の推進

ア 法人化推進地区での合意形成支援

旧市町	対象集落等	主な支援活動内容	主な作物
三隅	A	・法人化後の試算、運営等検討 →A 法人を設立	・米(主食用、飼料用、WCS)、飼料作物
長門	B	・法人化後の試算、運営等検討 →B 法人を設立	・米(主食用、飼料用)
日置	C	・法人化後の試算、運営等検討 →C 法人を設立	・米(主食用、飼料用)
油谷	D	・基盤整備事業の進捗と並行し 法人化検討支援 →法人設立準備委員会を設置	・準備委員会で営農計画等を検討する中で今後決定

イ 法人化推進地区の掘り起し、意識啓発

地区支援会議での情報集約等の結果、対象候補として6つの集落・集団等を抽出。

旧市町	対象集落等	地域の状況・リーダーの意向など
三隅	F	・法人には含まれたエリアで、まとまった営農を展開 ・営農組合があり、現農区長がキーマンの一人
	G	
長門	H	・以前よりトーンダウンしたが法人化情報を継続提供中 ・営農組合があり、組合長が受託者協議会に参加中
	I	
日置	J	・一旦トーンダウンしたが再燃の動きあり
油谷	K	・受託者協議会の対象集落。入作多く意向集約に難航

(2) 地域農業をサポートする体制の整備支援

ア 計画的な農地集積の推進

・広域支援会議の充実・強化

市・JA等と管内全域にわたる担い手等に係る協議の核として、広域支援会議の計画的開催を誘導・支援した結果、目標どおり年4回開催。4回目では、農地の集積情報や法人連携など各機関の今年度活動等の情報提供とともに、次年度の取組方向について協議されるなど、情報共有が進捗。

・分散錯圃解消に注視した担い手への農地集積推進

重点推進地区等を中心に集積を働きかけ、61haを新たに集積。

#### イ 法人協と連携した運営支援

##### ・法人間での機械・施設の共同利用促進支援

既存の法人所有機とともに、法人連合体に係る機械の導入支援により、新たに5台が法人間の共同利用機械として登録。

##### ・労力確保対策等の課題解決支援

労力確保に向けた一方策として法人間連携強化の必要性等を調査した結果、連携意向が高かった三隅・油谷地区で法人連合体の検討が始まり、他地区でも取組意向を確認。

#### ウ サポート体制構築に向けた機運醸成と連合体の育成

##### ・モデル化検討の投げかけと取組誘導

三隅・油谷の両地区では法人連合体設立準備委員会(29年1月に発起人会へ改組)が設置され、当面の活動内容等の協議が進められた。活動の一つである航空防除に必要なオペレータ養成を地区再生協と連携実施し、年度内に延べ23名を養成。

##### ・農地情報を活用した受託者協議会や3セクプロ会議の開催支援

深川地区では、主要な受託者6名による協議会が設置され、7月には「深川地区アグリサポートネットワーク」と改称し、今後の各者連携した農地集積や支援策等を検討・共有する場を明確化。

第3セクターは今後も設立検討に向け、継続的に情報交換することを決定。

### (3) 法人経営への女性参画の推進

#### ア 地域資源を活かした地域づくり活動の推進

E法人では、前年度作成した「集落ビジョン、夢マップ、行動計画」を「夢プラン」としてとりまとめるとともに、パンフレット化して情報発信と法人内部の取組意欲を増進。

また、行動計画の中心となる加工事業については、法人女性部内に起業活動検討チームが編成されるなど、女性部主体の活動体制が徐々に強化中。

#### イ 女性の組合員、役員としての法人経営への参画推進

農山漁村女性のつどい及び法人研修会で、E集落等の取組み状況に係る情報提供等を通じ、新規設立法人のC法人で女性理事が誕生。

## 4 今後の普及活動に向けて

### ア 法人化の推進

#### ・法人化推進地区での合意形成支援

対象地区の意向等を踏まえ、関係機関等と緊密連携し、継続的に支援。

#### ・法人化推進地区の掘り起し、意識啓発

今後とも、地区支援センター会議等で情報を共有することで、関係機関の共通認識のもと、連携・分担して掘り起し・意識啓発の活動とともに、対象の変化に応じた支援を継続。

また、今後の農地の維持・集積推進に向けては、出し手側に着目し、受け手とのマッチングを図っていく手法とし、広域支援会議等で順次検討を進める方向。

### イ 地域農業をサポートする体制の整備支援

#### ・法人協と連携した運営支援

法人及び連合体での機械導入が見込まれる中、今後ともその支援とともに、規程

の周知、導入後の運用ルールの再精査等を進め、共同利用を促進。

労力確保の課題解決に向け、連合体の共同事業等を通じ、労力と作業の補完体制の構築及び人材確保方策の検討を継続。

・ **法人連合体の育成**

法人連合体での人材確保に向け、作業補完及び所得拡大の方策検討を促進支援。

・ **認定農業者連携体制の構築**

深川地区アグリサポートネットワークでの協議から抽出された課題に対応するよう、農地集積推進員等と引き続き連携し、担い手の活動及び課題解決を支援するとともに、久富地区での協議の場設置を誘導。

**ウ 法人経営への女性参画の推進**

モデル法人で策定された夢プランの実践を支援する中で、女性組合員・役員として経営参画を支援するとともに、参画事例の収集と法人協行事等での情報発信を継続し、全体機運を醸成。